

三次元画像可視化システム

VOLUME EXTRACTOR

ボリューム エクストラクター

使いやすさアップ!

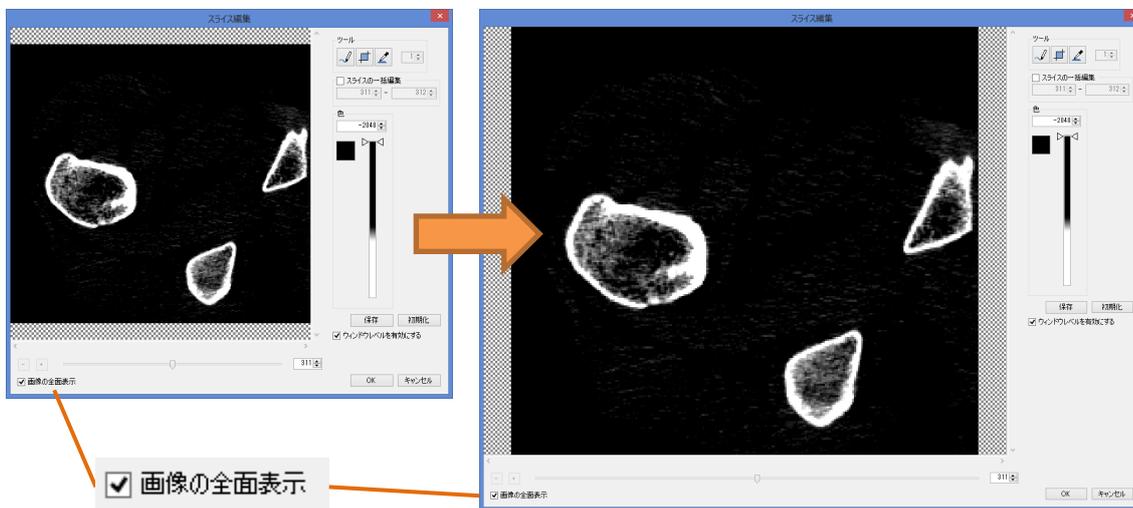
Version 3.6.0.7

お知らせ

- 製品価格はフル版：8万円、ライト版：5万円（税別）で購入可能です
- 2019年1月から大学生協でも購入が可能となりました。詳細は大学生協の販売カタログに記載されております（アカデミック価格は40%引きです）。

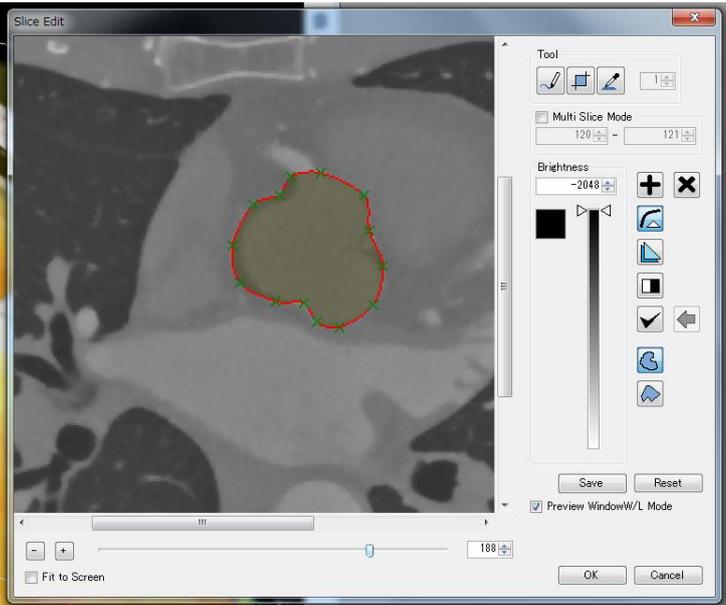
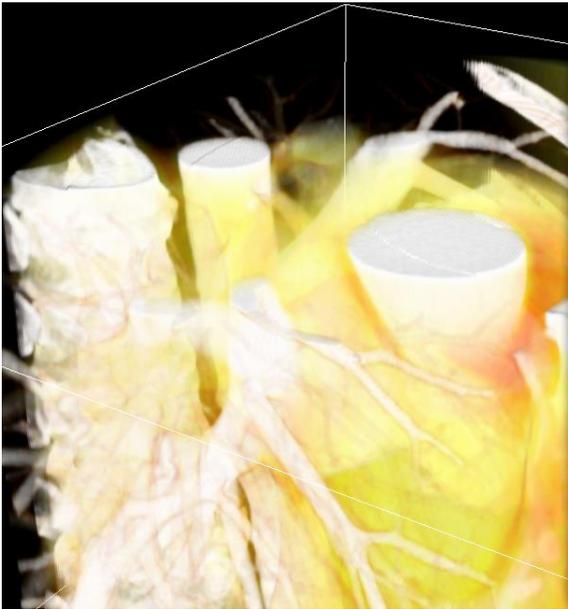
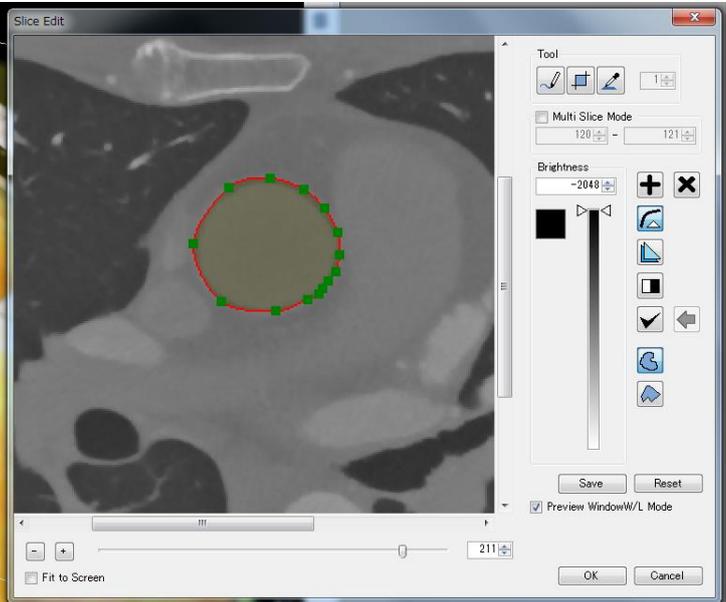
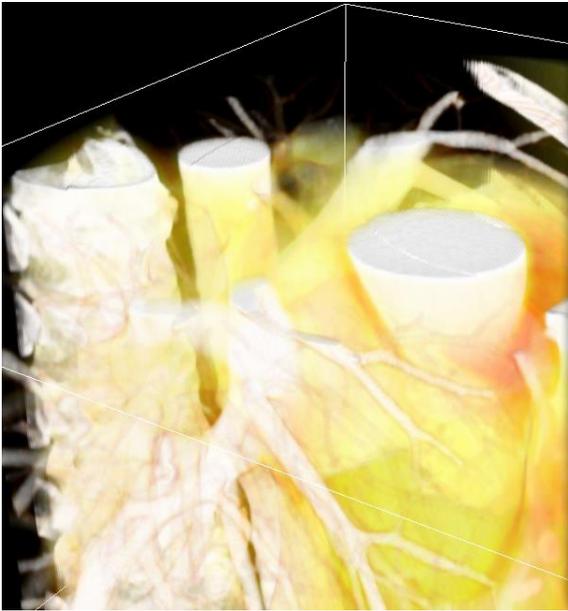
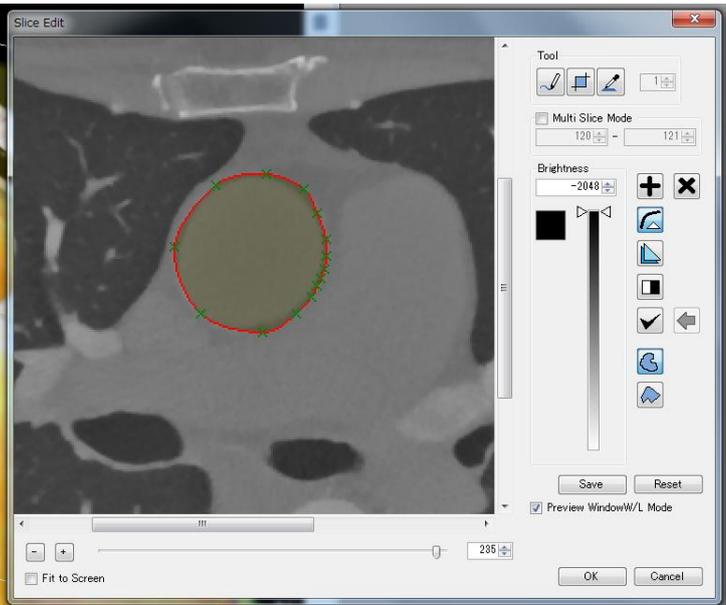
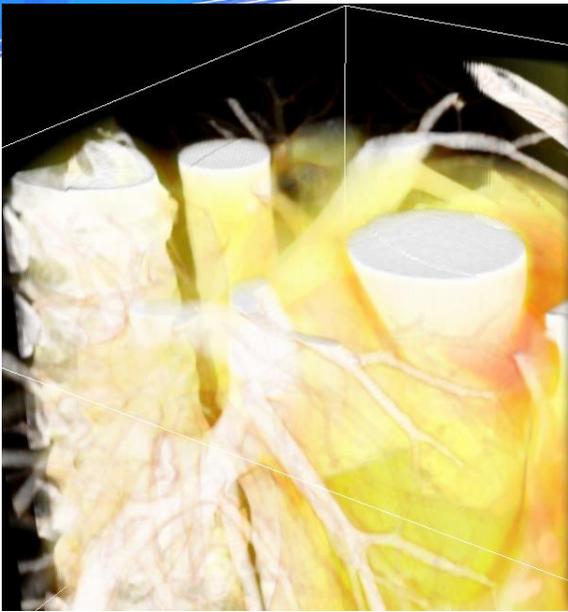
バージョンアップ内容

1) スライス編集機能で全面表示の追加と機能拡張

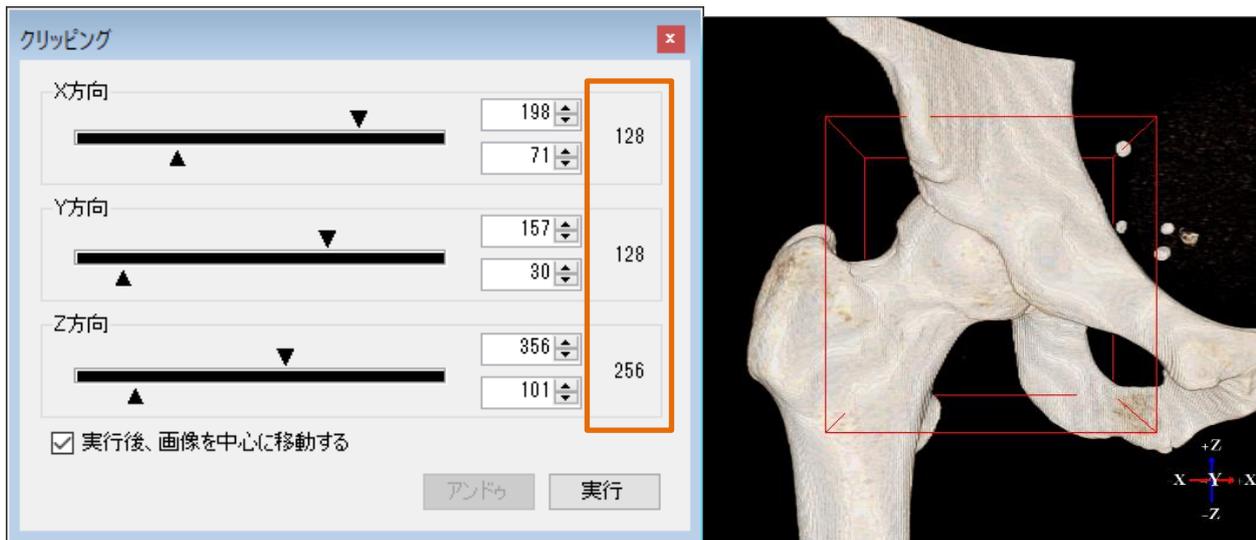


⇒スライス画像編集が強化されました

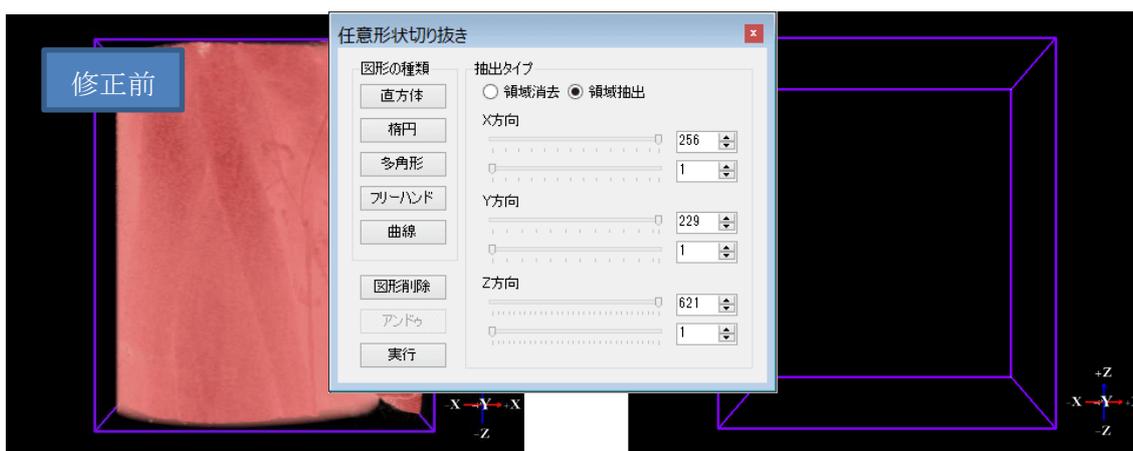
任意のスライス画像ごとにスプライン曲線で領域を対話的に指定して、スライス画像間をくり抜くことが出来るようになりました。途中のスライス画像間は自動で補間されます。本機能により血管や筋肉の抽出が容易になりました。以下の図は心臓 CT 画像から大動脈を抽出している事例です。



2) クリッピング後の画像サイズが実行前から分かるように変更
画像を決まったサイズで取り出したい場合に役立ちます。

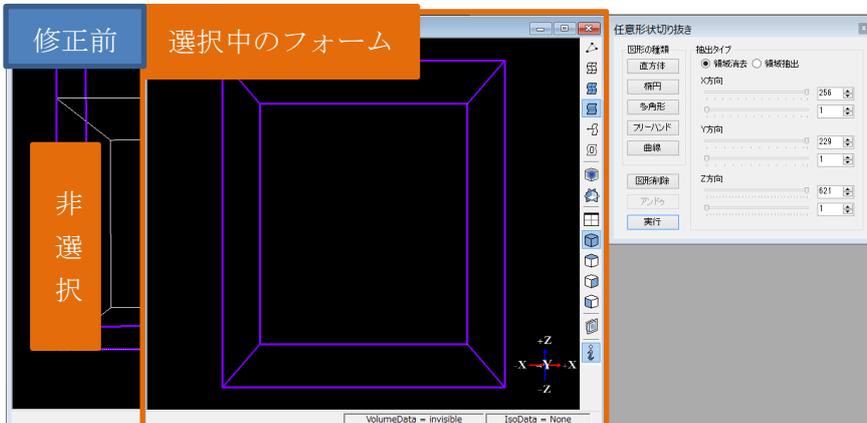


3) 任意切り抜き機能において、図形描画なしでも実行ボタンを押せる不具合の修正
領域抽出を選択し、図形なしで実行すると画像が全て消滅する不具合を修正しました。



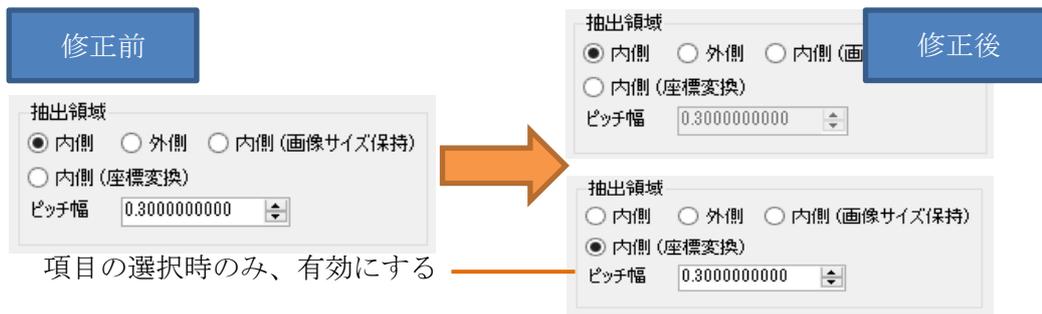
⇒図形がある時のみ、実行ボタンが有効になります

4) 任意切り抜き機能のマスク領域が、非選択の WorkForm にも表示される不具合の修正

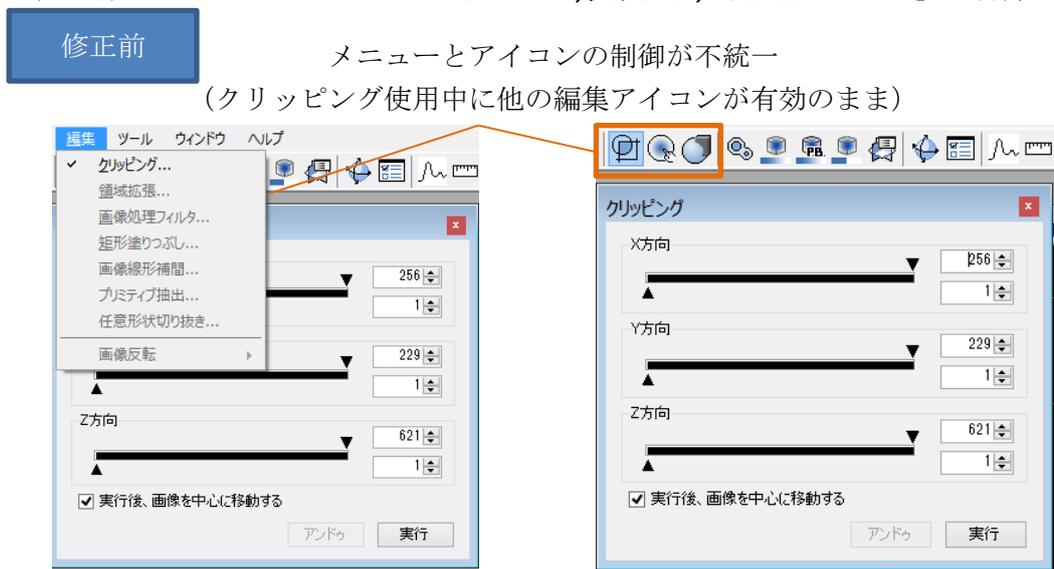


⇒選択中のフォームのみ、マスク領域が表示されます

- 5) プリミティブ抽出のピッチ幅入力を、内側（座標変換）の時のみ有効になるよう変更（それ以外では使用しないため）

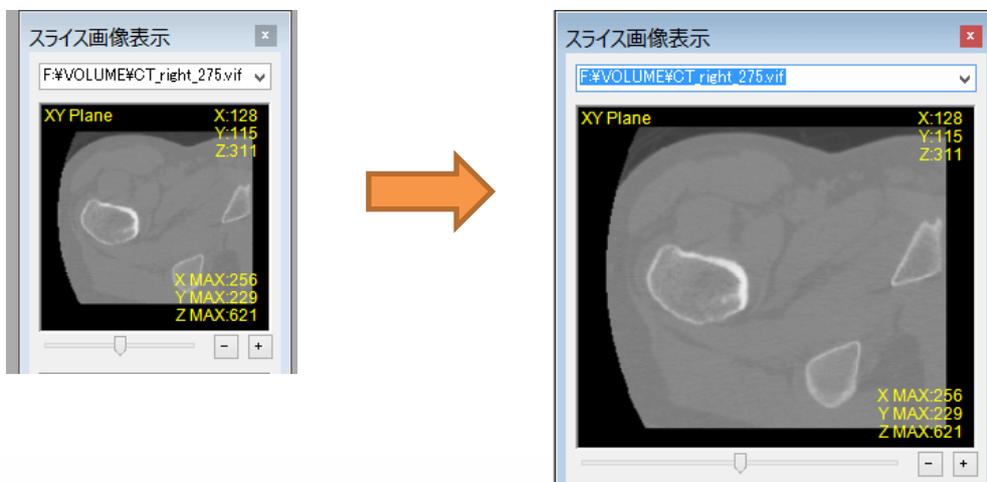


- 6) 上部メニューのアイコン「クリッピング,領域拡張, 矩形塗りつぶし」の制御を統一
 メニューとアイコンの制御が不統一
 (クリッピング使用中に他の編集アイコンが有効のまま)



⇒メニューとアイコンが同じ挙動になるように統一しました

- 7) スライス画像表示ダイアログを閉じた時に現在のサイズを保存



⇒拡大して再度開いた場合でも、同じサイズで復元されます